

第5学年〇組 家庭科学習指導案

指導者 齊 藤 由 美

1 題材名 上手に使おう！我が家のお金や物

2 題材の目標

- 自分の生活とのかかわりから、身近な物の選び方や買い方に関心を持ち、適切に買物をしようとしている。
(家庭生活への関心・意欲・態度)
- 生活で使う身近な物や金銭の使い方を見直して、購入しようとする物の品質や価格などの情報を活用し、目的に合った物の選び方や買い方について考えたり自分なりに工夫したりすることができる。
(生活を創意工夫する能力)
- 購入しようとする物の品質や価格などの情報を集め、整理することができる。
(生活の技能)
- 限りある物や金銭の有効な使い方や目的や品質を考えた物の選び方や買い方について理解することができる。
(家庭生活についての知識・理解)

3 題材について

本題材は、学習指導要領D（イ）「身近な物の選び方、買い方を考え、適切に購入できること」に基づき、購入しようとする物の品質や価格などの情報を集めることを通して、物の選び方や買い方を考え、目的にあった品質の良い物を選んで適切に購入できるようにすることをねらいとしている。

そこで、物や金銭の大切さに気付き、適切に購入できるように、模擬的な体験を通して物の選び方、買い方を見直す活動を行う。また、授業を生かし、実際の購入物を活用してみても感想を書いたり、友達との相互評価をしたりすることで実践的な学習へと展開させていきたい。こうした活動を通して、様々な情報の中から、自分に必要な情報を判断し、選択する力が養われ、学習した事柄が生きてはたらく力につながると考えられる。

4 指導計画（4時間）

時間	小題材名 主な学習活動	ねらい	評価方法
		学習活動における評価規準	
1	買い方について振り返ろう ・欲しい物を調べる。 ・ふでばこの中身を確認する。	・自分のふでばこの中を調べることを通して、 <u>お金の使い方について考え、学習の見通しをもつ。</u> 関－自分の持ち物や買い方に関心を持ち、物を大切にしようとしている。	行動観察 ワークシート
2	品物の買い方を考えよう ・ほしい物の入手方法からフィードバックしながら、お金の大切さについて考える。 ・フローチャートに従って意思決定をする。	・お金の大切さを理解し、有効に使うことの重要性に気付くことができる。 創－ほしい物に対して、購入すべきか否かを考えている。	行動観察 発表 ワークシート
3 4	計画を立てて買い物をしよう ・買い方の手順を考え、商品を選ぶ視点や情報についてまとめる。 ・いろいろなマークがついている所を調べる。 ・実際に商品を手に取り、自分の選択理由をまとめたり、友達との選択した視点に対して意見交換をする。	・買い方の手順を確認し、情報源や選ぶ視点・いろいろなマークについて調べる。 技－商品の品質や価格などの情報を集めて、まとめることができる。 知－商品を選ぶ視点や情報について理解している。	行動観察 ワークシート 発表
本時		・模擬的な買い物を通して、目的に合ったよい物を選ぶことができる。 創－友達との意見交換を基に、自分なりの購入の視点を考えている。	発表 ワークシート 行動観察
事後	購入した物を使ってみよう ・学用品の購入をし、実際に使ってみての振り返りをする。 ・友達の意見を今後の購入時に生かすために、お互いのよい点、改善点を伝え合う。	・買った物を実際に使ってみての報告ができ、もう一度買い物について振り返ることができる。 創－友達との意見交換を基に、自分なりの工夫や購入の視点を考えている。	ワークシート 付せん 行動観察

5 本時の指導

ア 目標

模擬的な買い物を通して、友達との意見交換を基に自分なりの購入の視点を考えることができる。

イ 準備

課題拡大図 選ぶポイント拡大図 作業手順表 各種ノート ワークシート

ウ 展開

学 習 内 容 及 び 活 動	指導上の留意点 (○), 評価 (評) 言語活動に対する支援の手立て (△)
<p>1 商品を選ぶポイントを確認する。</p> <p>選ぶポイント ----- ねだん・デザイン・使いやすさ・大きさ・量・目的・品質・新型・清潔・丈夫さ・マーク・環境・その他</p>	<p>○前時までの活動を想起させ、商品を選ぶポイントを確認させる。</p>
<p>2 本時のめあてを確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">算数のノートを選ぼう</p>	<p>○課題と商品を提示し、見通しをもたせる。 ○用意したノートから、「自分で使うとしたら」という視点で選ぶという目的を確認させる。 ○選択に困っている児童には、選択のポイントを見直し、自分に合ったノートを選ぶためには、何を重視したらよいかを助言する。</p>
<p>3 自分の目的に合ったノートを選ぶ。</p> <p>4 商品を選んだ理由をまとめ、グループごとに意見交換をする。 4人×3班</p> <p>(1) 自分の選んだ理由を発表する。 ・見た目がかわいい ・作図しやすそう ・枚数が多い ・買い置きができる</p> <p>(2) 友達の意見を聞いて、自分の選んだノートを振り返る。 ・作図はしやすいかな ・筆算はしやすいかな ・見た目も大切だな</p>	<p>△選んだノートだけでなく、その理由もワークシートに記入し、自分の考えを整理できるようにさせる。 △選んだ視点を具体的にキーワードとして入れながら、発表できるように助言する。</p> <p>△友達と意見交換する場を設けることで、商品を選ぶ視点が広げられるようにする。</p>
<p>5 もう一度ノートを選ぶ。</p> <p>・新たな情報を得て、ノートを替えた理由をまとめる。 ・初めに選んだノートを再度選択した理由をまとめる。</p>	<p>○新たな情報を基にして、再度商品を手に取り、自分の選択したものを直視させるよう支援する。 △なぜその商品に替えたのか、替えなかったのか、自分の意見を理由とともに具体的に書けるように支援する。 (評) 自分なりの購入の視点を考えている。 (創意工夫, 行動観察・発表・ワークシート)</p>
<p>6 最終的に選んだ理由を発表する。</p> <p>・作図するときのことも考えたほうがいい ・文字は大きく書けたほうがいい ・作図も計算もしやすそうだから替えない</p>	<p>○まとめに困っている児童には、前回までのキーワードを基にした振り返りをするを助言する。</p>
<p>7 本時の学習を振り返り、実際の買い物につなげていくことを確認する。</p>	<p>△授業後は全員の意見を掲示し、友達の考えと自分の考えの違いに気付くことができる環境をつくる。 ○本時の学習をもとに、実際に買い物をすることを知らせる。</p>